



# ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆  
 (カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)  
 【今月の一冊】2025年の世界予測  
 中原 圭介 著 ダイヤモンド社  
 ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2014年11月1日 Vol. 145  
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
 代表取締役 渡邊 敏徳  
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地  
 TEL 0554-67-8006 FAX 0554-22-2859

## フォーカス

## 自由席

人にはいろんな行動パターンがあります。周りの人を観察していると気がつくことがたくさんあります。

私たちは、仕事などいろんなことに“成果”を出していくには、どんなことに意識していったらよいのでしょうか？

成果を出す人と成果がいつまでも出ない人の違いはどんなところなのでしょう・・・。  
 一番大切なことは「できない事より、できた事にフォーカスする」ということです。何時までも成果が出ない人は、自分の行動の中でできない事ばかりにいつも着眼しています。それに対して、成果を出す人は、自分がやった事、できた事に焦点を当てます。

例えば、AさんとBさんの2人がやらなければならないことがそれぞれ10個あったとします。そのうち2人とも3つ実行しました。Aさんは「3つできた!」と喜んでいます。一方Bさんは「7つもできなかった」と嘆いています。

さて、この2人を見て、今後どちらの方が継続的に成果を出していけると思えますか。やったことに喜びを見いだしていくAさんに良い連鎖が起こり、新たな行動が次の成果へと結びついていきます。

私たちは、一生懸命に頑張っていると思いますが、いつもできない事に“フォーカス”していないか見直してみる必要があります。できない事よりも、できる事にフォーカスして行動を積み重ねていくことの大切さを忘れないようにしたいものですね。やがて、自信となって、色々なものへチャレンジし続けられるようになって行けると思えます。



### ◇未来の医療技術への期待！

ここの所、悲しい別れが続いています。1つ下の後輩、大学の同級生、長年お世話になったお客様が病気で亡くなりました。“すい臓がん”です。医療技術が進歩していることも確かですが、がんをはじめ難病が早く克服されるように期待しています。悲しい別れが無くなるように・・・。

最近よく耳にすることがあります。それは、社員の座席をすべて“自由席”にするというものです。基本的には、オフィスに早く来た順に、好きな席について仕事をはじめというルールです。目的は、「社内コミュニケーションの活発化」と「生産性の向上」にあります。

オフィスを自由席にすると、年齢や性別に関係なくいろんな人の近くで仕事ができます。日頃あまり接点のない人と近くの席に座ると、接点がない分各自適度な緊張感から集中して仕事ができ、時折コミュニケーションを取ることで、その人の人柄や意外な一面を知ることができます。

さらに、自由に座るオフィスにはもうひとつ狙いがあるとされています。それは「オフィスの整理整頓」が期待できることです。

社員は毎日好きな席に座るので、仕事が終わると書類や事務用品、ノートパソコン等は、個人のロッカーに収納します。「机の上が書類の山」という状態にはなりません。

社内のコミュニケーションを見直すひとつの機会に活用してみる価値がありそうですね。



### ◇創業融資実績が2年連続で大幅増加！

日本政策金融公庫・国民生活事業の平成25年度の創業融資実績（創業前及び創業後1年以内）は22,800企業（前年比117%）、1,821億円（同137%）と2年連続で大幅に増加しました。

景気の持ち直しや国の創業支援政策の効果もあることと、積極的な設備投資を行う创业者が増えたこともあり、融資企業数としては7年ぶり、金額では9年ぶりの高水準になりました。景気回復は本物？